

HIRO流時代劇 出雲大社で始動

初プロデュース映画「たたら侍」発表

来月撮入へ
「ワクワク」

EXILEのリーダー、HIRO(45)が28日、島根県出雲市の出雲大社で、初プロデュース映画「たたら侍」(16年公開予定)の製作を発表した。

錦織良成監督(52)、出演者らと仮拝殿で祈とうし、成功を祈願。高円宮家の次女、典子さん(26)と出雲大社の権宮司、千家国麿さん(41)が挙式した拝殿をバックに、手を重ね合わせた。HIROは「神聖な場所で発表できて光栄」と感激。来月にクランクインを控え「正直、ワクワクしている」と目を輝かせた。

出雲に伝わる高度な製鉄技術「たたら吹き」でつくった日本刀と、侍を描く時代劇。HIROは錦織監督と「日本の誇りを世界に」を合言葉にし、「歴史に残るような作品にしたい」と意気込んだ。劇団EXILEの俳優で主演の青柳翔(29)は「海外の人に『日本っていいな』と思ってもらえる作品にしたい」と抱負を語った。

日本の誇り 世界へ発信

錦織監督が前作「渾身 KON-SHIN」(昨年1月公開)で青柳を主演に抜てきしたことでHIROと出会い、「日本を誇りに思えるような時代劇と一緒に撮りたい」と意気投合。たたら吹きについて錦織監督は「6世紀にあった技術で、日本は世界一の鉄をつくられていた。このことはあまり知られていない」とし「(同じ出雲が舞台の)もののけ姫でも描かれなかった真実を描く」と、HIROの期待に応える。出演者でEXILEのAKIRA(33)と小林直己(29)は「日本を元気にしたい」と声をそろえた。



▽「たたら侍」 中世の奥出雲の村で、名刀を生み出す鉄・玉鋼(たまはがね)をつくる技術「たたら吹き」を継ぐことが宿命づけ



出雲大社の拝殿をバックに、映画「たたら侍」のヒットを誓う(左から)EXILEの小林直己、AKIRA、劇団EXILEの青柳翔、錦織良成監督、HIRO

られている青年が、侍に憧れて村を出て行く。しかし、現実は厳しく、村を出たことを後悔していると、旅の途中で日本刀に秘められた妻さを知る。帰村し、争いに巻き込まれながら父からたたら吹きを受け継ぐ。